令和３年度大学院入学試験問題（所要時間６０分）

修　士　課　程　　史　学　専　攻　　日本史コース　　Ｃ 一般（長期履修含む）・留学生

受験番号		氏名		科目	専　門（論述テスト）	評点	

以下にある１～８のテーマのうちから２つを選んで、それぞれについて論じなさい。論述の際、選んだテーマの番号を冒頭に明記しなさい。

1　刀伊の入寇　　2　荘園整理令
3　武士団　　4　下剋上
5　堂島米市場　　6　天保の改革
7　日米和親条約　　8　新聞

令和３年度大学院入学試験問題（所要時間６０分）

修　士　課　程　　史　学　専　攻　　考古学コース　　Ｃ 一般（長期履修含む）・留学生

受験番号		氏名		科目	専　門（論述テスト）	評点	

● 次の３項目のうち、２項目について知るところを記しなさい。

１・吉見百穴

２・歴史考古学の特質

３・坪井正五郎の考古学史上の業績

令和３年度大学院入学試験問題（所要時間６０分）

修士課程　史学専攻　東洋史コース　C 一般（長期履修含む）・留学生

受験番号		氏名		科目	専門（論述テスト）	評点	

※「留学生」受験者は、全て日本語で解答すること。

【設問１】下記の用語から２つを選び、歴史学の立場からその意義を論述しなさい。なお、解答欄の冒頭の空欄に解答する番号を記入すること。

① 馬王堆帛書　② 劉淵　③ 侯景の乱　④ 西突厥　⑤『貞観政要』　⑥ 藩鎮

⑦ 封泥　⑧『隋書』倭国伝　⑨ 馮道と印刷　⑩ 開封と「清明上河図」　⑪ 三藩の乱　⑫『四庫全書』

【設問２】以下の文章は『魏書』崔浩伝の一部である。現代語訳しなさい。

太祖季年、威嚴頗峻、宮省左右多以微過得罪、莫不逃竄、避目下之變、浩獨恭勤不怠、或終日不歸。太祖知之、輒命賜以御粥。其砥直任時、不為窮通改節、皆此類也。

令和３年度大学院入学試験問題（所要時間６０分）

修　士　課　程　　史　学　専　攻　　西洋史コース　　Ｃ 一般（長期履修含む）・留学生

受験番号		氏名		科目	専　門（論述テスト）	評点	

次の２問の両方に答えなさい。裏面を用いてもよい。

問題１　次の８項目のうちから３つを選び、それぞれ３行程度で簡潔に説明しなさい。

a. ローマ帝国　　b. ビザンツ帝国　　c. 宗教改革
d. 主権国家の成立　　e. 啓蒙主義　　f. フランス革命
g. イギリス帝国　　h. 第一次世界大戦

問題２　あなたが修士課程でおこなう予定の研究テーマについて、時代状況を明らかにしつつ、10行以上で具体的に述べなさい。

令和３年度大学院入学試験問題（所要時間６０分）

修　士　課　程　　史　学　専　攻　　Ｃ　一般（長期履修含む）・留学生

受験番号		氏名		科目	英　語	評点	

【辞書使用可、電子辞書使用不可】

次の英文を明快な日本語に翻訳しなさい。

The government of Egypt determined to build the new Aswan High Dam in 1954. Consequently, the precious relics of ancient Egypt and ancient Nubia would have been submerged by the massive artificial water reservoir. The governments of Egypt and Sudan asked UNESCO to assist them to preserve the endangered monuments and sites in 1959. UNESCO began the international campaign to save the monuments of Nubia like the Abu Simbel Temples in 1960. The project's success led to other protection campaigns, such as saving the ruins of Mohenjo-daro in Pakistan. Then UNESCO took the initiative in preservation of cultural heritage, which resulted in World Heritage Site.

令和３年度大学院入学試験問題（所要時間６０分）

修　士　課　程　　史　学　専　攻　　Ｃ 社会人（長期履修含む）

受験番号		氏名		科目	小論文	評点	

●修士課程で取組みたいと考えている研究テーマについて、下記の項目に従って記しなさい。

1　研究テーマ設定の理由と、研究の意義

2　重要と思われる先行研究の評価

3　重要と思われる史料（資料）の概要と活用法

4　期待される研究成果